

各 位

News Release

「公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団」

令和3年度

地域の伝統文化分野 助成対象先を決定

公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団（1991年6月設立・理事長関口憲一）では、地域の伝統文化（民俗芸能および民俗技術）の継承、特に後継者の育成を支援するため、昨年11月から令和3年度『地域の伝統文化保存維持費用助成』制度の助成対象候補を公募してまいりました。このたび応募79件の選考を終えて43件の助成対象を決定し、助成金目録の贈呈を行なうこととなりましたので、ここにお知らせいたします。

なお、本年度の決定を含めた本制度による助成件数の累計は、当財団設立以来1,307件になります。

【お問い合わせ先】

公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団

〒163-0633

東京都新宿区西新宿1-25-1

新宿センタービル33階

TEL. 03-3349-6194

FAX. 03-3345-6388

記

1. 公募方法と公募期間

都道府県の教育委員会または知事部局の担当課を推薦窓口とする要推薦制度の公募を、令和2年11月から令和3年1月29日まで行い、79件の申込を受付けた。

2. 助成対象

- (1) 地域の民俗芸能（民俗行事・民俗音楽を含む）の継承、特に後継者育成のための助成。
- (2) 地域の民俗技術（伝統的製作技術・衣食住に関わる生活技術・伝統工芸を含む）の継承、特に後継者育成のための助成。

3. 助成対象者の決定

選考委員会における選考審査（3月9日）を経た後、理事会の承認を得て決定。

【伝統文化分野選考委員】（敬称略）

委員長	小島美子	国立歴史民俗博物館名誉教授
委員	田中宣一	成城大学名誉教授
〃	田村善次郎	武蔵野美術大学名誉教授
〃	西角井正大	国立劇場おきなわ運営財団理事
〃	星野紘	全日本郷土芸能協会理事長
〃	渡辺行信	当財団評議員

4. 助成決定件数・助成金額

(1) 令和3年度 部門区分別 助成決定件数・金額

部門	申込件数	決定件数	助成金額
民俗芸能	78件	42件	1,813万円
民俗技術	1件	1件	37万円
合計	79件	43件	1,850万円

(注) 都道府県別の助成対象および金額等は、3頁～7頁(民俗芸能の部および民俗技術の部)をご参照願います。

(2) [ご参考] 助成件数・金額の推移 (金額単位: 万円)

年度	民俗芸能		民俗技術		合 計	
	助成件数	助成金額	助成件数	助成金額	助成件数	助成金額
平成3年	24	1,717	5	229	29	1,946
4年	29	1,960	5	190	34	2,150
5年	30	1,958	5	200	35	2,158
6年	34	2,060	6	240	40	2,300
7年	38	2,310	5	190	43	2,500
8年	41	2,550	6	250	47	2,800
9年	41	2,670	6	230	47	2,900
10年	43	2,800	4	140	47	2,940
11年	44	2,845	4	155	48	3,000
12年	43	2,740	6	260	49	3,000
13年	42	2,740	8	260	50	3,000
14年	38	2,590	10	410	48	3,000
15年	33	1,590	2	60	35	1,650
16年	31	1,525	5	125	36	1,650
17年	37	1,650	0	0	37	1,650
18年	35	1,666	2	80	37	1,746
19年	37	1,780	2	70	39	1,850
20年	39	1,810	1	40	40	1,850
21年	38	1,740	4	110	42	1,850
22年	39	1,735	3	115	42	1,850
23年	41	1,814	1	36	42	1,850
24年	48	2,122	6	185	54	2,307
25年	40	1,775	2	75	42	1,850
26年	41	1,802	3	98	44	1,900
27年	40	1,746	4	104	44	1,850
28年	41	1,800	2	50	43	1,850
29年	42	1,811	1	39	43	1,850
30年	41	1,775	2	75	43	1,850
令和元年	39	1,736	3	114	42	1,850
2年	39	1,740	3	110	42	1,850
3年	42	1,813	1	37	43	1,850
合計	1,190	62,370	117	4,277	1,307	66,647

5. 助成金目録の贈呈

第一次推薦者（市町村教育委員会等）の庁舎、もしくは最寄りの明治安田生命支社において贈呈式をおこなう予定。

令和3年度 地域の伝統文化 助成対象

(敬称略)

1. 民俗芸能の部 (民俗行事・民俗音楽を含む)

42件 1,813万円

地域	フリガナ	助成額 (万円)	活動の概要
	申込団体または個人 伝承行事・芸能・技術の名称		助成目的
北海道	カミノクニカシノトリホソカイ 上ノ国昔踊り保存会	40	室町期創始とされる戦勝祝や季節慶事の踊り。江戸期には松前藩主の為に踊り、明治期以降は民衆の諸行事で行われた。平成に入り中断、H30年保存会結成し復活。槍をかざす所作や、漁業関連の囃子詞が特徴。
	上ノ国昔踊り		衣装道具購入費の一部として
青森県	ミナエツブリギミ 湊えんぶり組	25	江戸中期演舞記録がある田植踊。明治期は100組以上と盛行。S30年代に途絶。H11年青葉小生徒で始めた子供組の卒業生がH28年湊えんぶり組結成。太夫3人がテンポ良く踊る「どうさいえんぶり」が特徴。5曲継承。
	えんぶり		衣装新調費の一部として
青森県	アサシホトリホソカイ 浅井獅子踊保存会	50	江戸中期創始とされ松森町獅子舞の流れを汲む獅子踊。H12年休止、H23年三輪小児童を中心に再開。浅井稲荷神社夏祭や各種イベントで演舞。3頭の獅子が山(人生の理想)を征服する筋立てで構成される。
	浅井獅子(鹿)踊		獅子頭胴幕新調費の一部として
青森県	タコマチニヤトヤラホソカイ 田子町ナニヤドヤラ保存会	40	起源不詳だが旧南部領地方に広く伝わる盆踊。地域により踊りや歌詞が異なり、日本最古の盆踊とされる。女性から男性に呼掛ける恋歌で、当地では締め「サイノ節」を行う。町内外行事やイベントでも披露。
	ナニヤドヤラ、サイノ節		踊り手衣装購入費の一部として
岩手県	イヌエモリネブツケンバ体ソカイ 犬吠森念仏剣舞保存会	50	江戸前期に隣村から伝わった大念仏系念仏剣舞。一時中断、S42年保存会結成し復活。笛・太鼓・さらによる新仏供養に加えて、大草公民館で念仏剣舞を上演。他とは異なり「大笠振り」を最後に演ずるのが独特。
	犬吠森念仏剣舞		衣装購入費の一部として
岩手県	ツギタガイショウカケホソカイ 築館大乘神楽保存会	50	S41年堤防工事による移転と同時に太鼓はじめ神楽道具一切も遷座し、同系統団体から指導を受けた修験山伏系神楽。S50年保存会を結成。八幡神社例祭や火防祭、元旦祭などで披露。
	築館大乘神楽		備品整備費の一部として
宮城県	ゴキシマ体ソカイ 古式獅子舞保存会	50	戦国後期に京から伝わったとされる獅子舞。かつて重陽の節句に妙見宮で奉納され、現在は町行事で演舞。稚児が2頭の獅子の肩に乗る演技は神仏習合の要素が残る。伎楽系の獅子舞と太神楽系芸能が混在。
	古式獅子舞		獅子頭修理費の一部として
秋田県	ヒカシカノサハラホソカイ 東長野ささら保存会	19	佐竹氏の秋田国替に同行した岩沢佐助が伝えたとされる一人立ち三頭獅子舞。お盆に家々や寺社を回り、先祖供養と家内安全・豊作を祈願する。行列は提灯・旗・毛槍が先導し、獅子・横笛・唄上げと続く。
	東長野ささら		道具購入費の一部として
秋田県	カマガタイバソカケホソカイ 釜ヶ台番楽保存会	50	江戸前期に京都の修験者が伝えた本海流番楽。戦後衰退、S41年地区全戸で保存会を結成し復活。釜ヶ台神社に、8月14・15・20・26日の4日間奉納。18演目継承。集落の9割が檀家の鮎川瑞光寺でも奉納。
	釜ヶ台番楽		衣装購入費の一部として
山形県	オヤシマ体ソカイ 大谷獅子舞保存会	50	江戸中期創始とされる獅子踊り。大川渡と谷地興屋両地区が共同で継承。S49年保存会結成。双方の間にある大地神社夏祭に不定期に奉納し、直近のH30年は6年ぶりの実施。獅子幕に旧藩主酒井家の家紋を使用。
	大谷獅子舞		衣装道具購入費の一部として
福島県	ハカシカセイソカイ 芳賀須内青年会	40	明治中期から伝わる獅子神楽。夏の土用に各戸を回り、獅子舞と神楽面を被った青年が悪疫退散を祈願し舞う「虫干し神楽」。かつては丑の日に行ったが7月最終日曜に変更。一貫として青年会行事として継承中。
	虫干し神楽		獅子頭・面修繕費の一部として

地域	フリガナ	助成額 (万円)	活動の概要
	申込団体または個人 伝承行事・芸能・技術の名称		助成目的
茨城県	ヒガシシカヤオヤシボゾンカイ 東牛谷お囃子保存会	50	平将門に勝利した藤原秀郷が京から伝えたと言われるお囃子。戦勝祈願を行った日月神社夏祭に奉納。京風の柔らかな流れの「通り神楽」に、加波山神社のお囃子が加わった。8曲継承。各種イベントでも披露。
	東牛谷お囃子		太鼓修繕費の一部として
栃木県	オミジシヤレイシボゾンカイ 大神神社伶人保存会	50	起源は不明だが大神神社の春秋祭に奉納される雅楽。3人の伶人が笙・箏・龍笛を奏し、五穀豊穡・安産子育てを祈願。春は流鏝馬、秋にお鉾祭も行う。S29年伶人が一人になり保存会設立して継承中。
	大神神社の雅楽		雅楽楽器購入費の一部として
埼玉県	ツカゴシヤシシ 塚越囃子連	50	M32年に隣接の川島町から伝わった木の流囃子。塚越八坂神社夏祭に地域の安寧・家内安全を祈願し奉納。主な曲目はニハ・鎌倉・屋台。演目は魚釣り・山々地蔵・五人囃子等多彩。大小3台の神輿も参加。
	塚越ばやし		獅子頭・衣装購入費の一部として
千葉県	サカワカゴヲボゾンカイ 笹川神楽保存会	50	源頼朝の武運長久を祈り創始したとされる十六座獅子舞。7地区の氏子が年番で諏訪神社春祭に五穀豊穡を祈り奉納。種目の間に女子の「神子の舞」が加わる。演目により神の由来や神意を語る謡も行う。
	笹川の神楽		道具購入費の一部として
東京都	トハラヤシボゾンカイ 留原囃子保存会	45	M20年創始とされる神田流囃子。八坂神社夏祭に五穀豊穡・氏子安泰を願い奉納。阿伎留神社夏秋祭にも演奏。8曲を継承。3演目の里神楽を有し、黙劇が基本の江戸里神楽とは異なり台詞を交えて面白く演ずる。
	神田流祭囃子と里神楽		道具整備費の一部として
神奈川県	ミヤギノシマボゾンカイ 宮城野獅子舞保存会	50	江戸中期に富士吉田から伝わった湯立獅子舞。箱根町の宮城野、仙石原と御殿場のみで継承。諏訪神社夏祭に往古ながらに天下泰平・五穀豊穡を祈願し奉納。その前後に辻締・末社回り・虫送り等の神事を行う。
	湯立獅子舞		道具整備費の一部として
新潟県	マキシタチチゴマイボゾンカイ 楨下町稚児舞保存会	70	明治中期に信濃川対岸の蔵王町から伝わった出雲流神楽。S32年青年団解散に伴い中断、S39年保存会結成し復活。自然の恵みに感謝する舞等13舞を継承。地元神社祭礼や他町の祭り、芸能後援会にも出演。
	神楽舞		太鼓(1.7尺)購入費の一部として
富山県	ヒロノジシカイ 広野自治会	35	明治中期に魚津市川原波地区から伝わった獅子舞。県東部では珍しい氷見系の百足獅子。香積廣野神社秋祭で神輿の露払として町内全戸を廻り舞う。12演目を継承。10～15年に一度「獅子殺し」を奉納する。
	香積廣野神社 秋季祭		道具購入費の一部として
山梨県	ムカイバラシモクミトウジシボゾンカイ 向原下組道祖神御神木保存会	18	戦前から向原地区に伝わる小正月行事。戦後は家族数増加等の事情で上組・下組夫々実施。「セノカ」「オカフチコウ」「トントン焼き」「お札配り」が主な行事で、起源は江戸期と推定され希少。下組の日程は昔の通り維持。
	下組道祖神御神木祭		道具購入費の一部として
長野県	ワダジシヤカガラゲイノウトウシカイ 和田神社御神楽芸能同志会	50	起源不詳だが和田神社春・秋・元旦祭に奉納する獅子舞。稲の豊作祈願と収穫感謝を行う。H9年同志会結成。地域の文化祭やながの獅子舞フェスティバルでも披露。
	御神楽、獅子舞		道具整備費の一部として
長野県	オキワラジシヤキマツシツコウインカイ 荻原神社秋祭り実行委員会	40	江戸中期創始とされるお船祭。萩原神社秋祭に全長10m超の人形飾りを施した山車を曳き奉納。船内部に太鼓を設置し、大太鼓・小太鼓・鉦・篠笛を絶えず演奏。200本のローソクに火を灯す市内有数の祭。
	荻原神社のお船祭り		和太鼓修理費の一部として
岐阜県	アラカワツガカトリボゾンカイ 荒川松坂踊り保存会	50	江戸中期創始とされる豊年踊。明治初期に仮名手本忠臣蔵の各幕の主役を取入れ完成した。白髭神社春祭に奉納。音頭に合わせ踊る「輪踊り」の中に2、3人の踊手が入り即興で演ずる「さし踊り」が珍しい。
	松坂踊り		鬘修理代の一部として

地域	フリガナ	助成額 (万円)	活動の概要
	申込団体または個人 伝承行事・芸能・技術の名称		助成目的
愛知県	オトメシモウテホゾンカイ 大留下棒の手保存会	50	戦国後期創始とされる東軍流の棒の手。一時中断、戦後古老らにより復活。神明神社夏秋祭に奉納。攻め一点張りの演技が多いのが特徴。同じ流派との交流として尾張旭市豊国神社春祭で合同奉納を実施。
	東軍流大留下棒の手		衣装「風切」購入費の一部として
愛知県	トコナミオグハラシホゾンカイ 常滑市小倉囃子保存会	15	江戸末期記銘の山車が伝わる祭囃子。M44年青年会を結成。S36年活動を中断、S43年保存会結成して復活。小倉天神社春祭に奉納。H5年、35年ぶりに山車運行が復活。H9年囃子子供練習会が再発足した。
	小倉囃子		道具整備費として
愛知県	コウワダシホゾンカイ 河和山車保存会	50	江戸後期から行われてきた山車行事。河和天神社夏祭で山車を曳回しからくりを奉納。かつては田植え後の農休みに行ったが、維新後は4月に移行。北組の女テコ・男テコと中組の三番叟はともに一級品。
	河和まつり		道具整備費の一部として
京都府	オオシマヤマトホゾンカイ 大住隼人舞保存会	45	海幸彦・山幸彦物語を題材とした隼人舞。奈良期には朝廷に奉納され、雅楽の源流ともなったという。S46年に大住地区で500年振りに復活。6種類の基本動作で構成。月読神社・天津神社の秋祭に奉納。
	大住隼人舞		隼人舞龍笛装束購入費の一部として
京都府	イネヨウ カミシク 伊根町 亀島区	50	江戸期以前創始とされる伊根祭り。八坂神社夏祭で海上安全や五穀豊穰等を祈願。7月初旬から8月下旬まで各種の舟屋台行事を展開。最古の舟屋台は江戸中期の作。八挺櫓による操船競争は貴重な行事。
	八坂神社祭礼・舟屋台行事		道具衣装購入費の一部として
奈良県	オホウシロウカウ 大宝寺六斎講	40	江戸前期創始とされる六斎念仏。毎年の盆に檀家を回り、大宝寺で念仏供養を行う。鉦のみを使用する高野山系。その響きから「チャンカウさん」と呼ばれ、各家の行事として定着。県内では3ヶ所のみが継承。
	東安堵の六斎念仏		掛軸修復費の一部として
島根県	イズモクニオハラシホゾンカイ 出雲國大原神職神楽保存会	50	江戸前期に京から習い伝えた神職神楽。明治政府に禁止され中断。大正期に神楽再興会を結成し復活。「七座の神事」7座と「神楽能」14段を継承。その他吉田神道や修験系の演目も持つ。御託宣神事を残す。
	大原神職神楽		神楽衣装購入費の一部として
広島県	ミヤノシヨウカケラダン 宮之庄神楽団	50	明治中期創始とされる矢上流石見神楽。S24年に高田舞が加わった。約20演目を継承。宮之庄八幡神社秋祭奉納はじめイベントや競演大会にも出演。伝統を重んじ格式を重視する”古き良き新舞”が目標。
	芸北神楽		衣装・道具購入費の一部として
広島県	シウキョウホゾン スサジシヤ 宗教法人 須佐神社	10	江戸中期の実施記録がある弓神事。1月7日に須佐神社に無病息災を願い奉納。宮司が南・東・北・西の順に弓と矢を打ち鳴らし、悪魔の眼に見立てた的に鏑矢を放ち退散させる。氏子でなく神職が奉仕するのが希少。
	的弓祭		備品整備費の一部として
徳島県	シヨウス イシホゾンカイ 勝瑞獅子保存会	45	近世末期に伝わるとされる2人立ち獅子舞。南陽神社秋祭に奉納。大小の太鼓と拍子木が奏でる曲に合わせて、両腕全体を駆使して獅子頭を揺さぶる激しい動きの「暴れ獅子」。享保年間記銘の太鼓を保有。
	勝瑞獅子舞		獅子舞覆い購入費の一部として
香川県	ヤマトキナタドリホゾンカイ 山本長刀踊保存会	40	明治初期から伝わる武芸踊。菅生神社秋祭に渡御行列の先頭で露払を務める。白装束に襷掛けの踊手2人一組が、2mの長刀を掛け声と共に打合う勇壮で素朴な古武芸。歌舞伎や能楽的な動きも見られる。
	山本長刀踊り		道具購入費の一部として
高知県	フナトトリホゾンカイ 船戸花取踊り保存会	50	江戸期に伝わった津野山花取踊り。一時中断、S58年保存会設立し復活。船戸河内五社神社秋祭に無病息災・家内安全を願い十五場を奉納。歌詞や若武者衣装に旧領主慰霊の要素が残る。伊予の踊り念仏も影響。
	津野山花取踊り		衣装道具購入費の一部として

地域	フリガナ	助成額 (万円)	活動の概要
	申込団体または個人 伝承行事・芸能・技術の名称		助成目的
福岡県	イマジ ユクアキシマイボゾンカイ 今宿青木獅子舞保存会	27	江戸末期年号の墨書がある太鼓を持つ獅子舞。度々中断、S50年保存会結成し復活。毎年元旦に八雲神社へ奉納。6演目継承。笛・太鼓に口説きを唱えて舞う。旧糸島・早良郡下の演劇的な獅子舞の特徴を持つ。
	今宿青木獅子舞		獅子袴購入費の一部として
佐賀県	トシヤクフリュウボゾンカイ 戸杓浮立保存会	34	有田町内唯一の面浮立。戸杓天満宮夏祭で五穀豊穡・天下泰平を祈願し奉納。笛・鉦・太鼓に合わせて鬼面を付けた踊手が勇壮に集団乱舞する。地区・町内の祭や各種の団体行事にも子供達を含めて参加。
	戸杓浮立		道具購入費の一部として
長崎県	タカハスモウキョウカイ 高浜相撲協会	40	江戸中期に三役まで務めた力士が帰郷し、相撲甚句・相撲踊りを伝えたのが創始。五穀豊穡・家内安全を祈る高浜八幡神社秋祭の中で高浜相撲を奉納。女子が法被姿、男子が化粧回し姿で三拍子を道中披露する。
	高浜相撲		小太鼓・撥購入費の一部として
大分県	タテイカクケイショウカイトウオウエンタイ 立石楽継承活動応援隊	50	江戸初期に突然の湧水に感謝して始まったともされる念仏踊系の楽。胸に太鼓、腰蓑に旗指物姿の心楽2人が、外楽10数人の円陣の中心で笛・鉦に合わせて踊る。3演目がある。H16年学校行事として児童が継承。
	立石楽		道具整備費の一部として
大分県	アジガノシボゾンカイ 阿鹿野獅子保存会	50	戦国末期に島津軍の侵攻から免れた神輿の還幸祝が創始ともされる獅子舞。城原八幡社秋祭に神幸の先導として舞を奉納。獅子・団扇・笛・太鼓・飛拍子・旗等総勢60人が勇壮に舞う。拝殿上の四方舞も特徴の一つ。
	阿鹿野獅子		道具整備費の一部として
鹿児島県	サムライオトリボゾンカイ 土踊保存会	45	戦国末期の島津家の三州(薩摩・大隅・日向)統一を機に始まったとされる土踊。青年の勇壮な二才踊と少年の儼かな稚児舞で構成。竹田神社夏祭に加世田土踊として奉納。服装・楽に念仏踊の特徴が出ている。
	土踊		衣装購入費の一部として
沖縄県	イジ ユンターファーケホゾンカイ 伊集の打花鼓保存会	50	明治初期に那覇経由で伝わった中国系の打花鼓。中国服を着た11人の踊手が、数人の唄と三線の演奏に合わせて高く飛上り、激しく体を屈伸させたりして踊る。歌詞や踊りの意味は不明。県内で唯一継承。
	伊集の打花鼓		衣装道具購入費の一部として

2. 民俗技術の部（伝統的製作技術・衣食住に関わる生活技術・伝統工芸を含む） 1件 37万円

地域	フリガナ	助成額 (万円)	活動の概要
	申込団体または個人		助成目的
	民俗文化財の名称		
和歌山 県	キシウセイカンクマイ	37	M15年大阪で創業したへら竿製造技術。創業者の弟子筋になる2人が、出身地橋本産の高野竹を用いて当地で製造を開始。3種の異なる竹を組合せる継ぎ竿で、130もの工程を1人の職人が半年かけて完成させる。
	紀州製竿組合		
	紀州へら竿製作技術		
			穂先(真竹)材料費として

【ご参考】国指定・国選択重要無形民俗文化財に定められた助成先

令和3年1月に文部科学省(文化庁)が新たに選択した「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財の選択」2件のうち1件1団体が、当財団がこれまでに行った助成先から該当いたしました。

保存継承に関わってこられた地元関係者の皆様のお喜びは勿論ですが、当財団にとりましても、今年も引き続き助成先から選ばれた事はたいへん嬉しいニュースです。

区分	決定年月	文化財名称	保存団体	地域	助成年度
国選択	2021年1月	松江の ホーランエンヤ	伝承ホーランエンヤ馬潟權伝 馬保存会	島根県 松江市	1996年

以上

財団案内

財団の目的

明治安田クオリティオブライフ文化財団(理事長:関口憲一)は、音楽における人材育成ならびに地域の伝統文化の保存維持、および後継者育成に対する助成などをおこない、もって国民生活の質的向上ならびにわが国文化の発展に寄与することを目的としています。

【財団の概要】

名 称	公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団 The MEIJI YASUDA CULTURAL FOUNDATION
設 立	平成3年(1991年)6月10日
主務官庁	内閣府
基本財産	15億円
事業内容	・音楽分野における若手芸術家の人材育成に対する助成 ・民俗芸能等地域の伝統文化の保存維持、後継者育成に対する助成 ・芸術文化活動に関する調査研究、出版物の刊行
事業計画	○クラシック音楽分野における若手音楽家の人材育成に対する助成 ・海外における音楽研修に対する助成 ・国内音楽学生に対する奨学援助 ○民俗芸能等地域の伝統文化の保存維持、後継者育成に対する助成 ・地域の民俗芸能(含、民俗行事、民俗音楽)の保存維持、後継者育成のための助成 ・地域の民俗技術(含、伝統的製作技術、衣食住に関わる生活技術、伝統工芸)の保存維持、後継者育成のための助成
事業成果	これまでの累計助成状況(令和3年3月現在) ・音楽分野 542人 9億5,690万円 ・伝統文化分野 1,307件 6億6,647万円
主な出捐企業	明治安田生命保険相互会社